

# 2011年度 学生プロジェクト活動状況報告書【12月号】



## プロジェクト名称

### 会津坂下町／東大宮連携支援プロジェクト

## プロジェクト主旨

メンバー: 鈴木翔太(リーダー)、櫻井拓也、尾形昌彦  
橋本祐樹、篠木万理恵、深町梢、藤岡知夏

3.11に東日本太平洋沖地震が起き、福島第一原子力が爆破し、大量の放射線物質が放出された。それにより会津坂下町を中心とした、様々な地域でモノが売れない、観光者が来ないなどの風評被害が発生した。風評被害とは間違った情報の認識によって起こるものである。そこで私たちは東北出身、関東在住といった利点を活かし、正しい情報を発信していこうと考えた。活動目標は「正しい情報・現状の発信、関東圏での物の消費」とし、具体的な活動として、  
①学園祭や東大宮のお祭りなどの様々なイベントでの情報発信や収集をする。  
②他団体と協力して会津ツアーを実施することでの、現地へ行くきっかけ作りをする。が挙げられた。

## 活動状況報告 & 活動写真など【活動期間: 2011年10月1日～12月31日】

### 主な活動内容

11/4.5.6: 芝浦祭での馬肉カレーの販売、チェキ企画の実施

11/19.20: 会津ツアーの視察

※新メンバーの募集を行ったところ、深町、藤岡が本プロジェクトに加入

### 【芝浦祭】



<馬肉カレー作成・販売>



<チェキ企画 ～スマイルプロジェクト～>



<ポスター掲示>



<販売前に出来た長蛇の列>



11月に行われた芝浦祭にて、福島食材を使用して作った馬肉カレーの販売、その場で撮影した写真(チェキを使用)にカレーの感想や福島への思いを書いてもらうチェキ企画スマイルプロジェクト、会津の様子やプロジェクトの活動についてまとめたポスターの掲示を行った。

3日間で約380食の馬肉カレーを販売し、芝浦工業大学の学生、豊洲に住んでいる方や働いている方など多くの人に会津坂下町のものを口にしていただけました。

芝浦祭での成果は

- ◆場や機会があれば多くの方に福島のものも食べていただけたことが分かった。
- ◆消費者側へのアプローチ方法が分かった。

一方で今後の課題は

- ◆情報収集の仕方や使用する食材の仕入れ方が現地からの直接的な手段ではなかった。となった。

今後は現地との交流の幅を広げてどこで誰からもらった食材なのかを明確にすることで消費者が安心できるものだと伝えることを伝えたい。その結果、消費者が自ら福島のものを選んで買うというステップへつなげたいと考えている。

### 【会津ツアー視察】

当初実際に現地に行くことにより、自分自身で情報を収集してもらおうと東大宮の地域の方々や芝浦生を集め会津に行くツアーを企画していたのだが、自分たちの準備不足と告知の遅れにより人が集まらず、来年のツアー視察も兼ねて今回はメンバーのみでの現地入りとなった。

ツアー視察の目的は

- ◆来年のツアー実施の参考にする。
- ◆現地の様子を自分たちで感じることで情報を収集する。
- ◆現地の人とのネットワークを作る。
- ◆自分たちの活動の報告とその成果報告を会津坂下町の方々にする が挙げられた。



〈酒蔵見学〉



〈味噌造り体験〉



〈交流会〉

酒蔵見学では、風評被害により売れにくくなった乳製品とコラボレーションさせた新しいお酒の販売や、地震により破損したお酒をブレンドした新酒の販売を行っていた。これらの利益は東日本大震災への寄付に当てたりするなど支援活動を行っていることを知った。

目黒麴店では、会津坂下町の歴史ある味噌について学ぶことができ、今後のお祭りにも協力していただけるとのことだったので、このつながりを活かしていきたい。

交流会では会津グリーンツーリズム促進委員会の方々や、実際に被災した方の話を伺うことができたくさんの情報収集を行うことができた。ツアー実施の際は、現地の方の話を聞く機会を、今回企画していた以上に取り入れていきたい。



また、スケジュールは次のように進めた。

11/19(土)

◆乗る新幹線:Maxやまびこ129号(仙台行)  
9:10 出 発 東大宮駅出発  
9:16 到 着 大宮駅到着  
9:26 乗り換え 大宮発の新幹線  
10:21 到 着 郡山駅到着  
10:46 乗り換え 郡山発の電車  
12:00 送 迎 会津若松駅前(町公用車2台)  
12:30 昼 食 坂下ドライブイン  
13:20 移 動 (町公用車2台)  
13:30 酒蔵見学 曙酒造(ガイド付)  
14:30 移 動 (徒歩)  
14:35 買 物 五ノ井酒店  
14:50 移 動 (町公用車2台)  
15:00 体 験 目黒麴店(味噌作り体験)  
17:00 移 動 (町公用車2台)  
17:30 入 浴 糸桜里の湯ばんげ  
17:30 夕 食 糸桜里の湯ばんげ  
18:30 休 憩 農村環境改善センター  
19:00 交 流 会 農村環境改善センター  
21:00 自由時間 農村環境改善センター

11/20(日)

8:30 朝食  
9:30 宿を出発  
11:00 大内宿(宿内見学・買い物・昼食)  
13:00 大内宿出発  
14:00 会津若松到着  
16:00 会津若松駅必着  
16:20 会津若松出発  
19:00 大宮駅着(その後 各自解散)



ツアー視察での成果としては

- ◆現地の様子を自分たちの目で見て、感じる事が出来た。
- ◆現地の方々と多くのつながりを持つ事が出来た。
- ◆ツアーを行う際に考慮すべき課題を発見する事が出来た。 が挙げられ

今後の課題としては

- ◆交流会の趣旨を理解し、プレゼンなどの機会を設けることで意見交流の場となるような交流会にする。
  - ◆告知時期を早めるなどの、人を集めるための告知方法の改善をする。
  - ◆見学場所によっては狭い場所もあったため、グループ分けをするなど見学方法の改善をする。
  - ◆味噌作りや大内宿での移動など体に負担がかかる場所があるため、高齢者に対するプランの変更をする。
  - ◆旅費が高かったため、旅費の見直しをする。 などが挙げられた。
- 今回の視察で見つかった課題点、つながりを今後も上手く活用していきたいと思う。



## 坂下を応援してくれています



会津坂下町出身の芝浦工科大学院生の鈴木翔太さんを中心とする学内の「会津坂下町/東大宮連携支援プロジェクト」では、大震災後の現状を埼玉県東大宮市民に広く伝える事と支援する側の現状を町側に伝えることで、風評被害を無くすことや農産物等の消費を増やそうという取り組みを行っています。

8月の東大宮サマーフェスティバルや11月の学園祭では、町の農産物を販売したり、馬肉カレー（食材はすべて坂下産）を提供したりしました。また、モニターツアーも実施しました。

1月号に私たちの活動が記載された。今後も多くの方に私たちの活動を知ってもらえるように努力していきたい。

### リンク

[http://www.town.aizubange.fukushima.jp/Members/hisyokouhou/contents/folder.2012-01-11.1335362332/copy7\\_of\\_kouhou2306.html](http://www.town.aizubange.fukushima.jp/Members/hisyokouhou/contents/folder.2012-01-11.1335362332/copy7_of_kouhou2306.html)

## 今年の活動を振り返って

今年の活動目標は「正しい情報・現状の発信」、「関東圏での物の消費」であった。

それに対しての成功点としては

- ◆1044人の方に福島産の食べ物を口にしてもらうことで情報発信することができた。
- ◆今後活かせるようなツアー実施の課題の発見や下見ができた。
- ◆様々なイベントを通して多くの人とのつながりができた。

また課題点としては

- ◆正しい情報・現状が収集不足だった。（情報収集の手段が新聞、ニュース中心となってしまった。）
- ◆会津ツアーが未実施となってしまった。（告知の遅れ、準備不足が原因と考える。）が挙げられ、総括すると情報発信の手段はわかったが、新聞やニュースで報道されていた情報を発信してしまったので、私たちの利点を活かしたリアルな情報や現状は収集不足であった。

## 今後の活動計画、目標、意気込みなど

今後は「私たちなりの情報・現状の収集徹底をして、今年以上の情報発信をしていく」ということを目標として活動していきたいと考えている。

具体的には「情報収集の手段」として

- ◆今年以上に現地に赴くことで情報・知識・現状の収集を徹底をする。
- ◆全国規模のイベントに参加し、他団体との情報の交換・交流する。

また「情報発信の手段」としては

- ◆Facebook、ブログなどのSNSを使ってより多くの発信をする。
- ◆学プロが連携して、簡単なニュースペーパーの作成する。
- ◆チーム名・ロゴの作成をすることでより多くの人に私たちの活動を覚えてもらう。

最後にその他の活動としては

- ◆新メンバーの募集をする。
- ◆宮城など他の被災地への活動範囲の拡大をする。を考えている。

